PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number: 05062458

(43)Date of publication of application: 12.03.1993

(51)Int.CI.

G11C 7/00 G06K 19/07 G11C 5/00

(21)Application number: 03221622

(71)Applicant:

SEIKO EPSON CORP

(22)Date of filing: 02.09.1991

(72)Inventor:

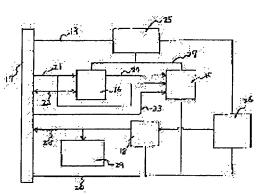
ADACHI JUNKO

(54) IC MEMORY CARD

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide an IC memory card by which the state of the residual capacity of a back up battery can be confirmed without inserting the IC memory card into a system side.

CONSTITUTION: A function which displays the residual capacity of a backup battery 26 is mounted on an IC memory card 15. A battery voltage monitoring circuit 18 is mounted on the IC memory card, the information of the residual capacity of the backup battery is indicated by a figure by detecting the voltage of the backup battery 26, and displayed at the IC memory card by a display device 29. The user of the IC memory card can easily confirm the state of the residual capacity of the backup battery only by seeing the IC memory card, and the danger of the usage of the erroneous information or the lost of the important information can be prevented, so that the reliability of the IC memory card can be improved.



(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A) (11)特許出願公開番号

特開平5-62458

(43)公開日 平成5年(1993)3月12日

		•							
(51)Int.Cl.5		識別記号] .	庁内整理番号	FΙ			技術表示箇	所
G11C	7/00	3 1 5		7323-5 L					
G06K	19/07								
G11C	5/00	301	Z	2116-5 L		,			
			١.	8623-5 L	G 0 6 K	19/00	J		
				•					

審査請求 未請求 請求項の数1

(全3頁)

(21)出願番号

特願平3-221622

(22)出願日

平成3年(1991)9月2日

(71)出願人 000002369

セイコーエプソン株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

(72)発明者 足立 淳子

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコー

エプソン株式会社内

(74)代理人 弁理士 鈴木 喜三郎 (外1名)

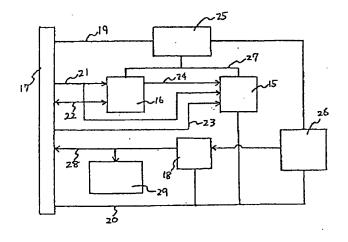
(54) 【発明の名称】 I Cメモリーカード

(57)【要約】

【目的】バックアップ電池の残留容量の状態をシステム 側に挿入しないで確認できるICメモリーカードを提供 する。

【構成】ICメモリーカード上にバックアップ電池の残 留容量を表示する機能を搭載する。ICメモリーカード 上に電池電圧監視回路18を搭載し、バックアップ電池 の電圧を検出することによってバックアップ電池の残留 容量の情報を図式化し、表示装置29によってICメモ リーカードに表示する。

【効果】ICメモリーカードの使用者は、ICメモリー カードを見るだけでバックアップ電池の残留容量の状態 を容易に確認することができ、誤った情報を使用した り、重要な情報を失ったりする危険はなくなるため、I Cメモリーカードの信頼性が高まる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 半導体メモリー、及び当該半導体メモリーからの読み出し、書き込み等を制御する制御回路、バックアップ電池、及び接続端子部により構成されるICメモリーカードにおいて、当該ICメモリーカードのバックアップ電池の残留容量の情報を電池電圧監視回路を搭載することにより複数レベル検出し、当該ICメモリーカードに表示することを特徴とするICメモリーカード。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は半導体メモリーを搭載するICメモリーカードに係わり、当該ICメモリーカードのバックアップ電池の残留容量の情報を検出し、当該ICメモリーカードに表示する機能に関する。

[0002]

【従来の技術】従来のICメモリーカードでは、ICメモリーカードをシステム側(本体側)に挿入した際、当該ICメモリーカードのバックアップ電池の残留容量の情報をシステム側に送出する構成であり、当該ICメモ 20リーカードをシステム側に挿入しなければ、使用者はバックアップ電池の残留容量を知ることができなかった。 【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のICメモリーカードにおいては、使用者は当該ICメモリーカードのバックアップ電池の残留容量の状態を、当該ICメモリーカードをシステム側(本体側)に挿入するまで確認できないため、誤った情報を使用したり重要な情報を失ったりする不具合が生じる。そこで本発明は、ICメモリーカード上に前記ICメモリーカードのバックアップ電池 30の残留容量をICメモリーカードに表示する機能を搭載することにより、前記課題を解決し、ICメモリーカードの信頼性をより高めるものである。

[0004]

【課題を解決するための手段】本発明のICメモリーカードは半導体メモリー、及び当該半導体メモリーからの読み出し、書き込み等を制御する制御回路、バックアップ電池、及び接続端子部により構成されるICメモリーカードにおいて、当該ICメモリーカードのバックアップ電池の残留容量の情報を電池電圧監視回路を搭載する 40 ことにより複数レベル検出し、当該ICメモリーカードに表示することを特徴とする。

[0005]

【作用】本発明の構成によれば、電池電圧監視回路によってバックアップ電池の電圧を検出し、電圧のレベルからわかるバックアップ電池の残留容量を図式化し、○(安全状態)、△(注意状態)、×(危険状態)等のように、ICメモリーカードに表示することができる。【0006】

【実施例】図1は従来のICメモリーカードのブロック 50 る。

図であり、1は半導体メモリーであり、目的及び用途に よりSRAMやDRAMやマスクROMが使用される。 2は当該半導体メモリーの読み出し、書き込み等を制御 する制御回路、3はシステム側に接続するためのコネク ターを示している。11は電源切り替え用コンパレータ ーであり、二種の入力電圧を比較して高電位側入力を選 択して出力する機能を有する。すなわち、当該ICメモ リーカードがシステム側に挿入されている時は、システ ム側よりVDD端子5、及び電源切り替え用コンパレー 10 ター11を介して5ポルトが供給され、当該ICメモリ ーカードがシステム側から抜かれている時は、バックア ップ電池12より電源切り替え用コンパレーター11を 介して3ポルトが電源線13に供給される。4は電池電 圧監視回路であり、当該監視回路によってバックアップ 電池の残留容量の情報を電池電圧監視信号14を介して システム側に送出する。従来のICメモリーカードでは ICメモリーカードをシステム側に挿入しなければバッ クアップ電池の残留容量が使用者には確認できなかった ため、誤った情報を使用したり、重要な情報を失ったり する不具合があった。 図2は本発明によるICメモリ ーカードのプロック図であり、15は半導体メモリーで あり、16は当該半導体メモリーからの読み出し、書き 込み等を制御する制御回路、17はシステム側に接続す るためのコネクターであり、18は電池電圧監視回路を 示している。29は本発明によるバックアップ電池残留 容量を示す表示装置を示しており、電池電圧監視回路1 8によりバックアップ電池の残留容量の情報を電池電圧 監視信号28を介して表示装置29に送出する。表示装 置29は、電池電圧監視回路18によって検出された電 圧が、安全状態電圧レベルであれば〇、注意状態電圧レ ベルであれば△、危険状態電圧レベルであれば×等のよ うに、検出された電圧を図式化してICメモリーカード に表示する。

【0007】以上の実施例において表示する図式は〇、 △、×である必要はなく、グラフを用いてパックアップ 電池の残留容量を表わしてもよいし、色を用いて表わし てもよい。従って本発明により、使用者はICメモリー カードのパックアップ電池の残留容量の状態を容易に確 認でき、誤った情報を使用したり、重要な情報を失った りする危険はなくなる。

[8000]

【発明の効果】本発明によりICメモリーカードの使用者は、ICメモリーカードのバックアップ電池の残留容量の状態をシステム側に挿入するまでもなく、ICメモリーカードを見るだけで容易に確認ができ、誤った情報を使用したり、重要な情報を失ったりする危険はなくなるため、ICメモリーカードの信頼性が高まる。

【図面の簡単な説明】

【図1】従来のICメモリーカードのブロック図である。

3

【図2】本発明によるICメモリーカードのブロック図である。

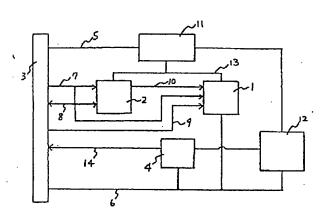
【符号の説明】

- 1 半導体メモリー
- 2 制御回路
- 3 コネクター
- 4 電池電圧監視回路
- 5 VDD端子
- 6 GND端子
- 7 アドレス信号線
- 8 制御信号線
- 9 データ信号線
- 10 メモリー制御信号線
- 11 電源切り替え用コンパレータ
- 12 パックアップ電池
- 13 ICメモリーカードの電源

14 電池電圧監視信号

- 15 半導体メモリー
- 16 制御回路
- 17 コネクター
- 18 電池電圧監視回路
- 19 VDD端子
- 20 GND端子
- 21 アドレス信号線
- 22 制御信号線
- 10 23 データ信号線
 - 24 メモリー制御信号線
 - 25 電源切り替え用コンパレータ
 - 26 バックアップ電池
 - 27 ICメモリーカードの電源
 - 28 電池電圧監視信号
 - 29 バックアップ電池残留容量の表示装置

[図1]



[図2]

